

みんな、同じ命。
同じぬくもり。

命をかけて守りあった、象と人間の物語

ミュージカル

むかしむかしゾウがきた



構成・演出＝浅利慶太 長崎源之助「むかしむかしゾウがきた」より
作曲＝鈴木 邦彦 装置・衣裳＝土屋茂昭 振付＝加藤敬二 照明＝赤崎浩二

劇団四季のオリジナルミュージカル 55 | こ | こ | ろ | の | 劇 | 場 |

ミュージカル

命をかけて守りあった、象と人間の物語

むかしむかしゾウがきた

構成・演出=浅利慶太 長崎源之助「むかしむかしゾウがきた」より
 作曲=鈴木邦彦 装置・衣裳=土屋茂昭 振付=加藤敬二 照明=赤崎浩二

|こ|こ|ろ|の|劇|場|

だれもが、たったひとつの命をもって生きている。

大昔、新聞もテレビもなかったころの物語です。

唐の国から日本への贈り物として、一頭のゾウがやってきました。初めて見る人々はおどろきながらも大歓迎。

殿様はこのゾウを「九郎衛門」と名づけ、城のほら貝吹き、太郎衛門に世話をしよう命じます。

でもやがて南の国で戦いはじまり、今度は九郎衛門を殺すようにとの命令が。

そんなことはできません。太郎衛門の妻おゆきと息子の太郎坊が九郎衛門をかくまおうと向かった先は…。

ゾウのリアルなしぐさや人形浄瑠璃をとり入れた場面など、オリジナルミュージカルならではのアイデアが、観る人をぐいぐいと引き込み、最後はだれもがきつと心を打たれるはず。

人も動物も、たったひとつの命を持ち、同じぬくもりを持って生きている…。

九郎衛門がその命をかけて伝えてくれるメッセージは、今の日本に生きる皆さんにもきつと響くことでしょう。

■公演に関するお問い合わせ 劇団四季 全国公演本部 〒105-0022 東京都港区海岸1-9-18 国際浜松町ビル3F TEL.0120-660-442(日祝休)
 ■あなたも「四季の会」に入会しませんか。—お問い合わせ・資料請求=「四季の会」事務局 TEL.045-903-1038

2009年1月4日(日)

開演16:00(開場15:30)

上演時間:
約2時間5分(休憩含む)

羽村市生涯学習センター
ゆとろぎ 大ホール

10月18日(土)前売開始!

10月17日(金)
会館先行発売

指定大人席 3,800円/指定高校生以下 1,800円(税込)

●3歳以上有料、2歳以下(3歳未満)の着席鑑賞は有料

主催:羽村市教育委員会 企画・運営:ゆとろぎ協働事業運営市民の会
 協力:NPO法人子どもと文化のNPO 子ども劇場西多摩
 お問い合わせ:羽村市生涯学習センターゆとろぎ Tel.042-570-0707

直接購入

羽村市生涯学習センター ゆとろぎ
 羽村市スポーツセンター 042-555-0033
 マルフジ各店(青梅・羽村・福生地区)
 西多摩新聞社チケットサービス 0120-61-3737
 各劇団四季専用劇場

電話予約

羽村市生涯学習センター
 ゆとろぎ(10/18◎から) 042-570-0707
 劇団四季予約センター
 (午前10時~午後8時) 0120-489444

インターネット予約

ゆとろぎホームページ
 (10/18◎から) <http://www.hamura-tokyo.jp>

SHIKI ON-LINE TICKET

パソコン ケータイ LEモード <http://489444.com>

(ヨヤク ショーヨ)

24時間受付(但し発売初日のみ午前10時より)

四季メールサービス 劇団四季の最新ニュースをお届けします。

★パソコンからは<http://www.shiki.gr.jp/mail>

★ケータイからはnew@shiki.gr.jpへ空メールを送信



だれもが、たったひとつの

命をもつて生きています。

初

演以来、たくさんの人に愛され続けているゾウの「九郎衛門」。舞台に大きな九郎衛門が

あらわれた瞬間、みなさんもきつとびつくりすることでしょう。耳も鼻も動き方も、まるで本物の

ゾウのよう。演出にも、日本の伝統芸能である人形浄瑠璃をとり入れた場面や、九郎衛門のふるさとを

想像させるエキゾチックなダンスなど、オリジナルミュージカルならではのアイデアがいっぱいです。

でも何より心を打つのは、九郎衛門とその世話を命じられた太郎衛門一家との強い絆。人も動物も、たった

ひとつの命を持ち、同じぬくもりを持って生きている…。そして九郎衛門は、その大切な命をかけて伝えて

くれるのです。どんなときにも思いやりを忘れず、支えあつて生きていくことのすばらしさを。それは今の

日本に生きるみなさんにもきつと届くことでしょう！



唐の国から、
大きなゾウが
やってきた！



大昔、新聞もテレビもなかったころの物語です。唐の国から日本への贈り物として、一頭のゾウがやってきました。

初めて見る人々はおどろきながらも大歓迎。殿さまはこのゾウを「九郎

衛門」と名づけ、城のほら貝吹き、太郎衛門に世話をするよう命じます。太郎

衛門は妻のおゆき、息子の太郎坊とともに、九郎衛門を家族のようにかわいがります。でもやがて南の国で戦がはじ

まり、今度は九郎衛門を殺すようにとの命令が。そんなことはできません。

おゆきと太郎坊が、九郎衛門をかくまおうと命がけて向かった先は…。

♪ みんなで声をあわせて、
歌いましょ。

「みんなみんな友達」
ともだち

作詞 劇団四季文芸部
梶賀 千鶴子

作曲 鈴木邦彦

どんなちい小さなひなどりも

どんなおお大きなぞうさんも

そしてここにいる わたしたちも

たったひとつの生命いのちをもつて

この世よにいらしているんだね

みんな みんな 同じ生命いのち

みんな みんな 同じぬくもり

みんな みんな 大事な友達だいじ



こころの劇場とは

子どもたちの心に、生命の大切さ、人を思いやる心、信じあう喜びなど、

人が生きていく上で最も大切なものを、舞台を通じて語りかけたい。

財団法人舞台芸術センターと劇団四季が、日本全国の子どもたちに

演劇の感動を届けるプロジェクト、それが「こころの劇場」です。

日本の未来を担う子どもたちの問題は、社会総がかりで取り組まなければなりません。

このプロジェクトは、多くの企業や行政の方々のご協賛、ご協力を得て始まりました。

これからもひとりでも多くの子どもたちと、感動の輪を広げていきたいと願っております。

〈舞台をみんなで楽しく観るために〉

ひとつの劇場でたくさんの方が同じ時間を過ごすのが舞台です。

自由なところでおもいきり楽しんでください。

でも、他の人の楽しみをじゃましないために、守ってほしいことがあります。

- 面白いときは笑ってください。感動したら拍手をしてください。
でも、勝手なおしゃべりなどは、舞台を観る他の人の迷惑になります。
- パンフレットを丸めてたたき合ったり、大声でさわいだり、
劇場の中を走り回ったりするのはやめましょう。